

学校運営協議会 会議実施報告書

1 会議名 岐阜市立岐阜商業高等学校 学校運営協議会（第2回）

2 開催日時 令和8年1月26日（月）13時30分～15時00分

3 開催場所 本校 会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した。

4 参加者	会 長	竹本 康史	岐阜聖徳学園大学教授
	委 員	桐生 伸治	鏡島自治会連合会会長
	〃	山内 義孝	(株)サムソンフィクセル代表取締役社長
	〃	臼井こずえ	西児童センター所長
	〃	片野 里美	前PTA副会長
	〃	馬場 伸也	PTA会長

<学校側>

副会長	長澤 紀明	校長
委 員	八田健二郎	事務長
〃	豊吉 利之	教頭
〃	野村 昌史	教務主任
〃	寺澤 裕紀	生徒指導主事・いじめ対策監
〃	澤田 幸男	進路指導主事
〃	平松 京美	商業科主任

5 目 的 保護者や地域住民と目標やビジョンを共有して連携を深め、家庭や地域と一体となって生徒を育む「家庭・地域とともにある学校づくり」を推進する。

6 会議の概要（協議事項）

（1）令和7年度 自己評価・学校関係者評価報告書について

意見1：本校の生徒は、地域の行事に参加するだけでなく、行事の企画や運営にも関わって主体的に取り組んでおり、地域の高齢者や小・中学校の児童生徒に良い影響を与えている。本校には地域に根付いた存在として、今後も期待している。

意見2：アントレプレナーシップの取組は、本校教育の肝になると思う。他者との協働やコミュニケーションの力をつけて、将来の起業に結びつけてほしい。

意見3：市岐商デパートでは、生徒が笑顔で挨拶をしてくれ大変気持ちがよかった。市岐商デパートは年間を通して生徒主体で取り組んでいるため、様々なことが学べるよい体験となっている。

意見4：学校評価アンケートでは、ICT活用スキルが向上している反面、教員の熱意や丁寧さの評価が減少している。学ぶ内容が難しくなるほど生徒には分かりやすい授業が求められている。

意見5：高校生は精神的にデリケートな部分をもっているなので、保護者としても子どもの小さなサインを見逃さず学校と連携したい。

意見6：中学生の保護者に、本校の卒業後の進路について十分伝わっていないのではないか。情報発信の方法も含め検討してはどうか。

意見7：交通ルールも変わってきている。自分の身を守る意識を高めると同時に、自分が加害者とならないよう慌てずゆとりをもって行動してほしい。

意見8：本校を卒業した生徒の就職先や進学先における追跡調査をしてはどうか。

⇒県内には追跡調査を実施している学校もある。予算面も含めて実施について検討したい。

(2) 本校の頭髪指導について

意見1：社会では頭髪や身だしなみへの考え方が変化している。自由にする訳にはいかないと思うが基準を見直してはどうか。

意見2：学校での身だしなみの指導は、生徒が事前に頭髪等をセルフチェックする機会となる。学校の指導を変えなくてもよい。

意見3：業界によって頭髪や身だしなみの考え方が異なる。高校では身だしなみを整えることが必要である。

7 会議のまとめ

- ・第2回学校運営協議会において、各委員から様々な視点での貴重な助言等を得ることができた。評価が高い取組等は継続しつつ、改善が必要な点は速やかに対応するなど今後の学校運営に生かしていく。